

ダニエル
聖徒伝 276

メシアを 待望する道を

ダニエル書7章

四頭の獣の幻

アウトライン

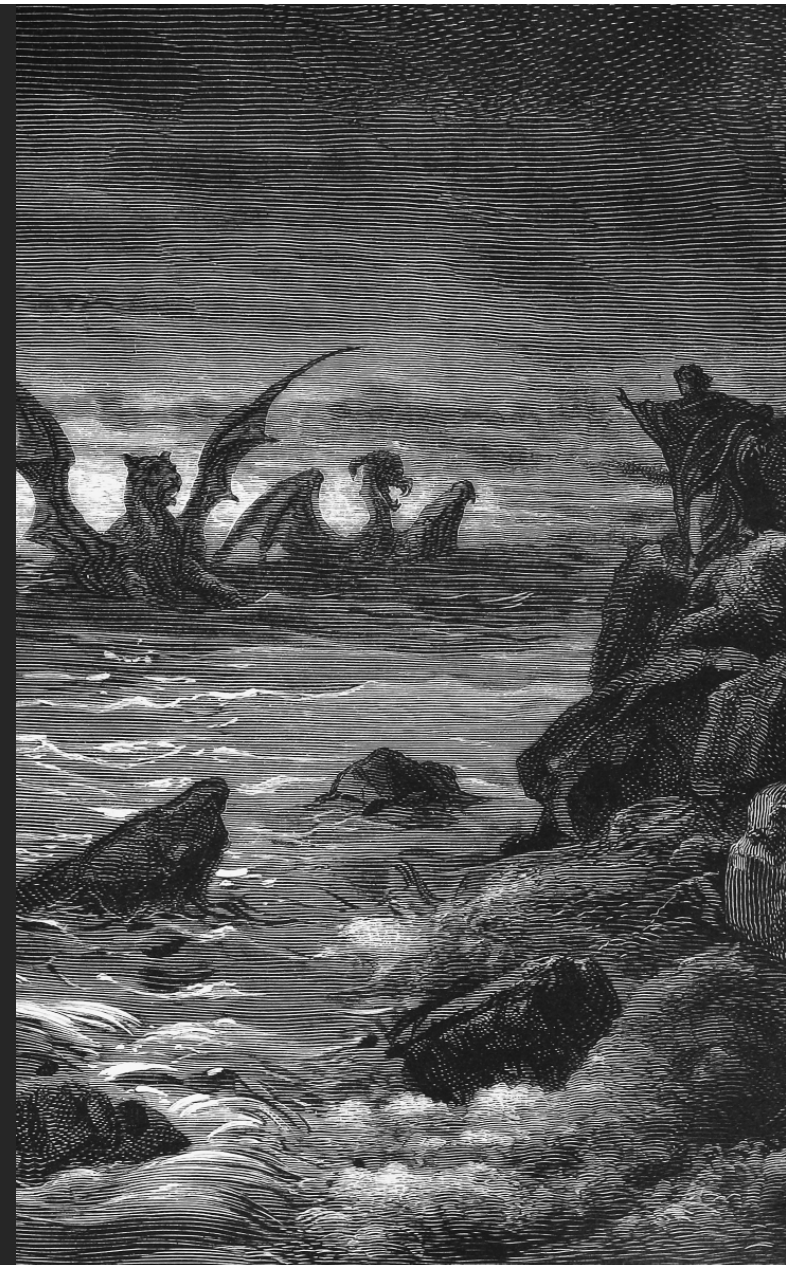
0. イントロダクション

I. 四頭の獣の幻 1～12節

II. 人の子のような方 13～28節

III. まとめと適用

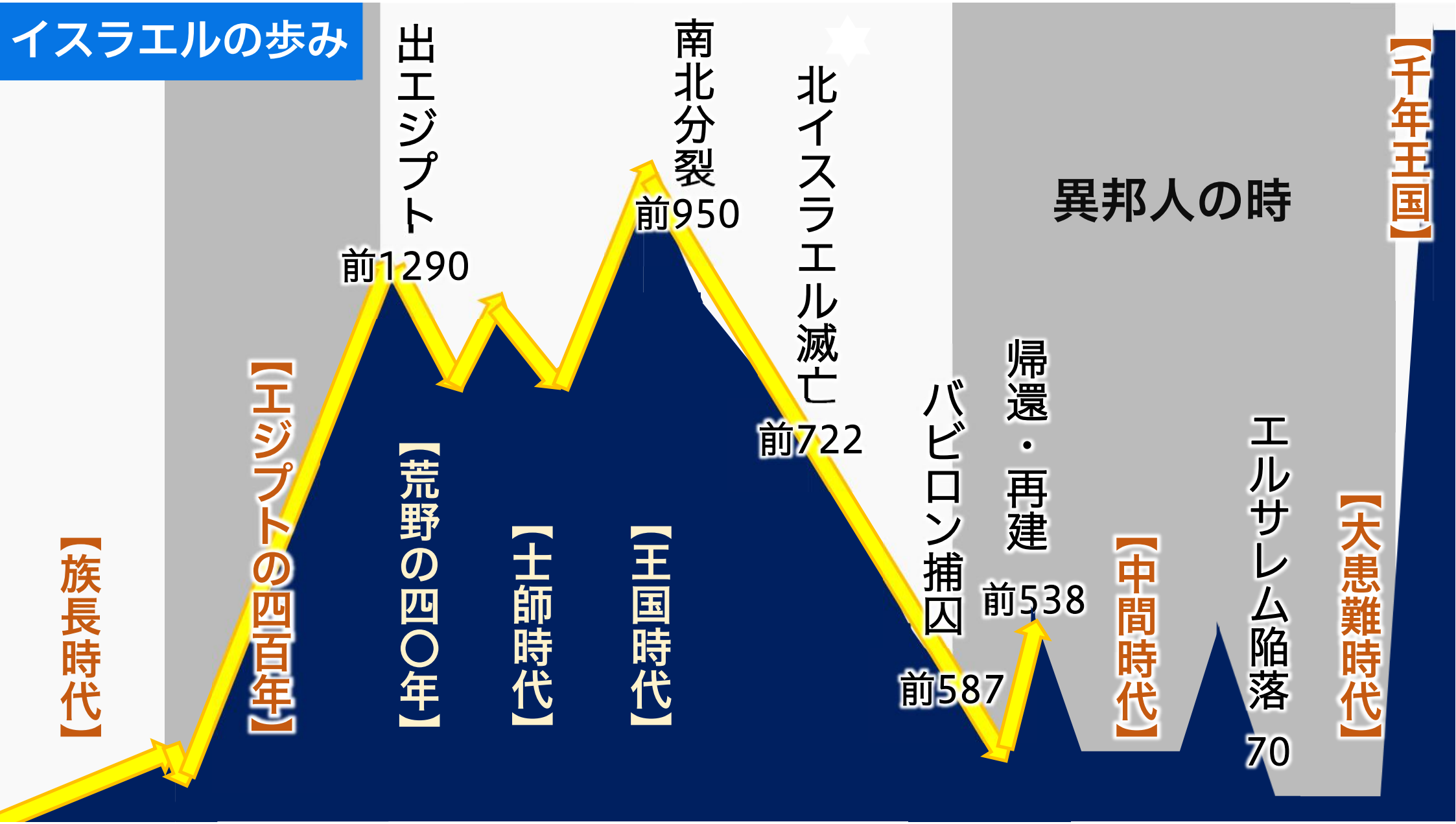
十字架の命の道をこそ歩もう



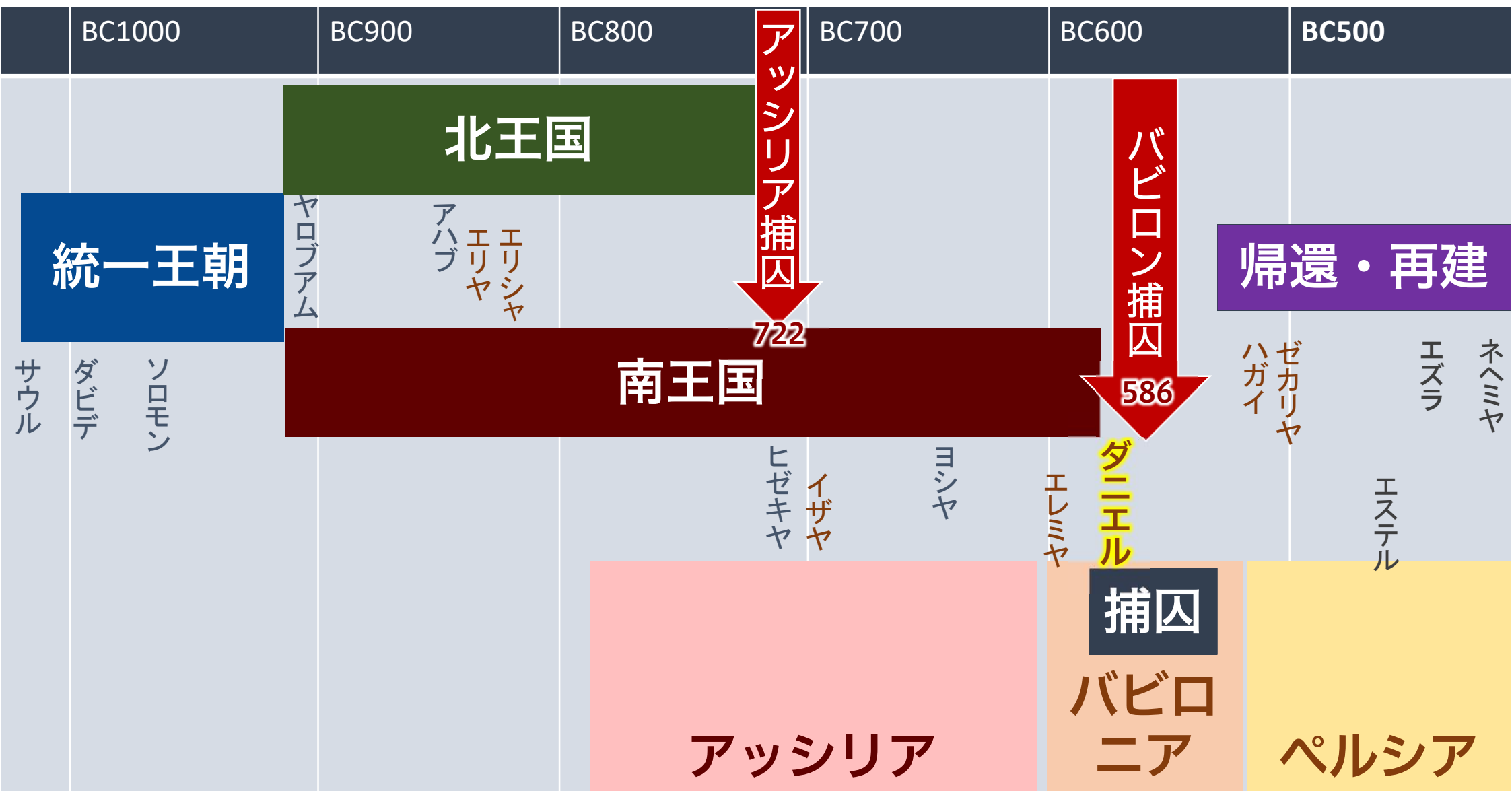


0. イントロダクション

イスラエルの歩み

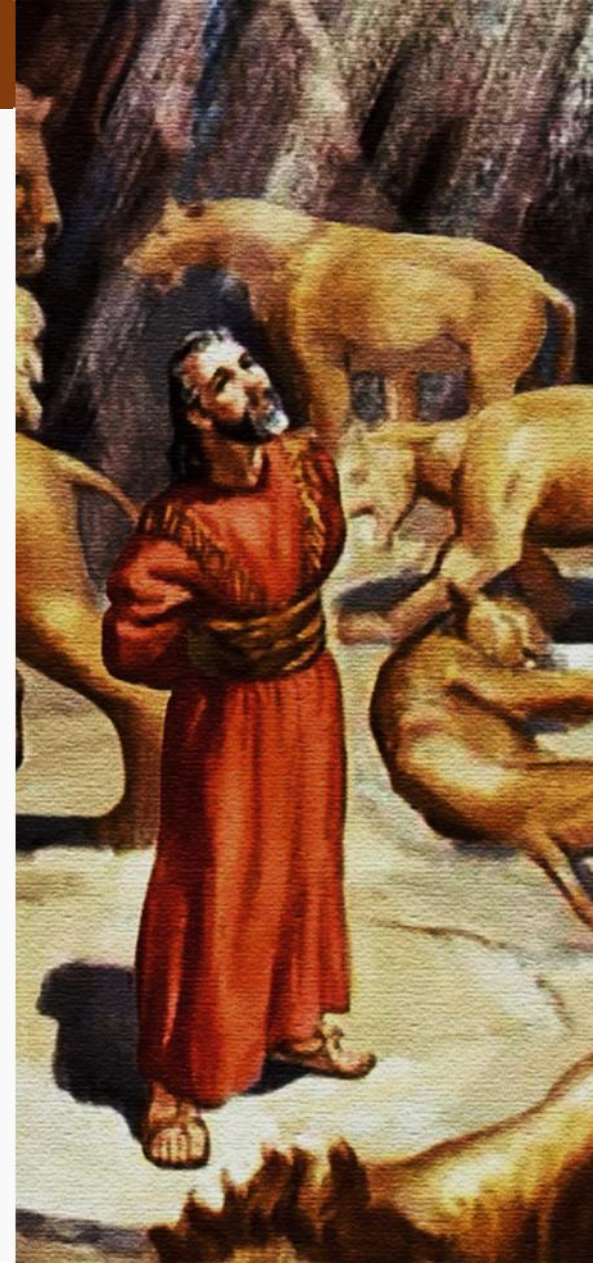


イスラエル王国史



前回までのあらすじ

- 70年に及ぶ捕囚期間を通して、ダニエルは、バビロンで王に仕えた。
- バビロンを滅ぼしたペルシアでも、重用されたダニエルだったが、王への礼拝を拒んだため、ライオンの穴に落とされてしまう。
- ダニエルは、無傷で守られ、イスラエルの神がペルシアにおいても讃えられた。



ダニエル書の構成

章	記述	言語	王国	王	内容
1章	歴史	ヘブル語	バビロニア	ネブカドネツアル	ダニエルの召命
2章		アラム語			つぎはぎの像
3章					炉に入れられた3人
4章					ネブカドネツアルの回心
5章					ベルシャツアル
6章			ペルシア	ダレイオス	ダニエル、ライオンの穴へ
7章	預言		バビロニア	ベルシャツアル	四頭の獣
8章		ヘブル語			御羊の幻
9章			ペルシア	ダレイオス (キュロス)	70週の預言
10章					天の御使い
11章					ペルシアの運命
12章					終わりの時

「つぎはぎの象」 ダニエル書の預言のアウトライン(時系列)

国	素材	王の権威	力	特徴
①バビロニア	金	★★★★	★	絶対王制
②ペルシア	銀	★★★	★★	立憲君主制
③ギリシャ	銅	★★	★★★★	民主制 (独裁)
④ローマ	鉄	★	★★★★★	共和制 (帝国主義)
終末の王国	鉄と陶器	—	—	統一と分裂
神の王国	自然の石 (メシア)	★★★★★	★★★★★	千年王国



帝国の変遷が視点を変えて告げられるのが、「四頭の獣(7章)」



I. 四頭の獣の幻

ダニエル書7章1～12節

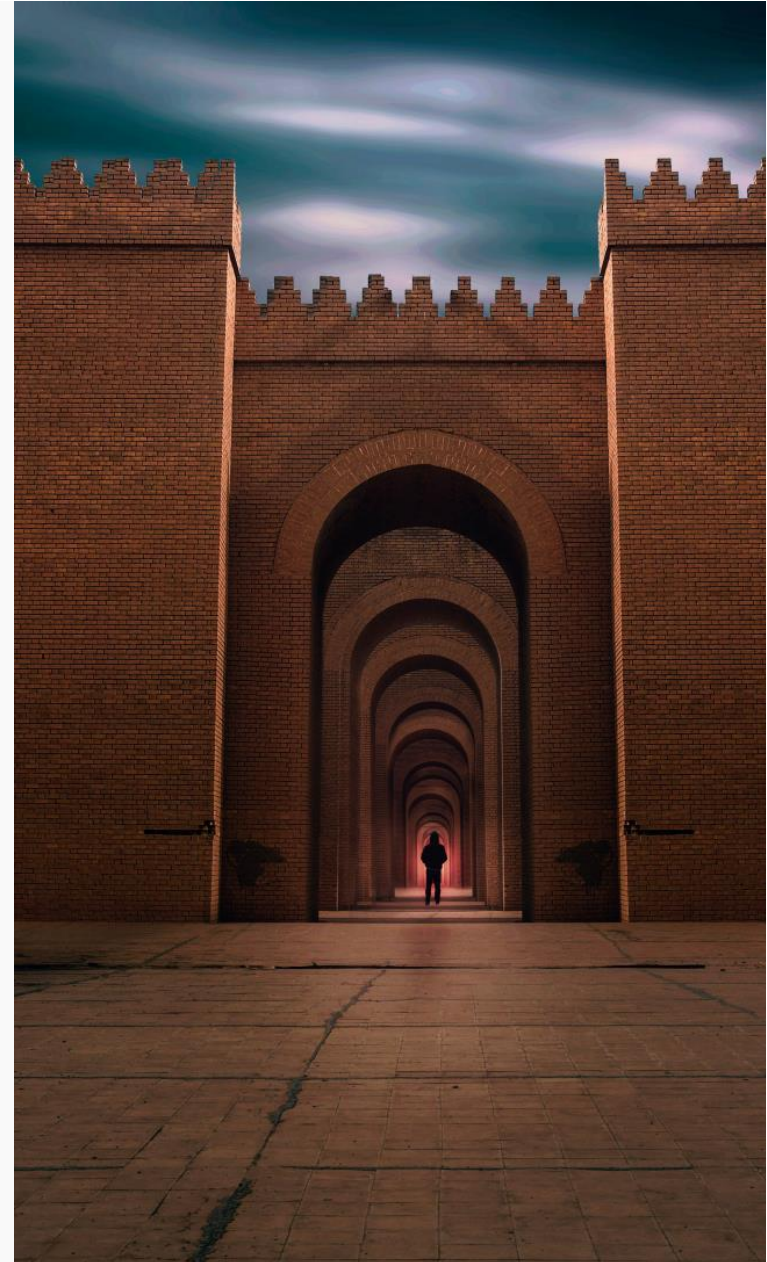
獣の幻 ダニエルの見た夢 ダニエル7:1

バビロンの王ベルシャツアル*の元年に、ダニエルは寝床で、ある夢と、頭に浮かぶ幻を見た。それからその夢を書き記し、事の次第を述べた。

*イスラエルの神を侮り、滅びを招いた王

■ダニエルが、バビロンで最初に仕えたネブカドネツアル王への預言が、最後の王ベルシャツアルの時代に再現。

➡ベルシャツアルも聞いていた!!



獣の幻 獣の幻 ダニエル7:2～3

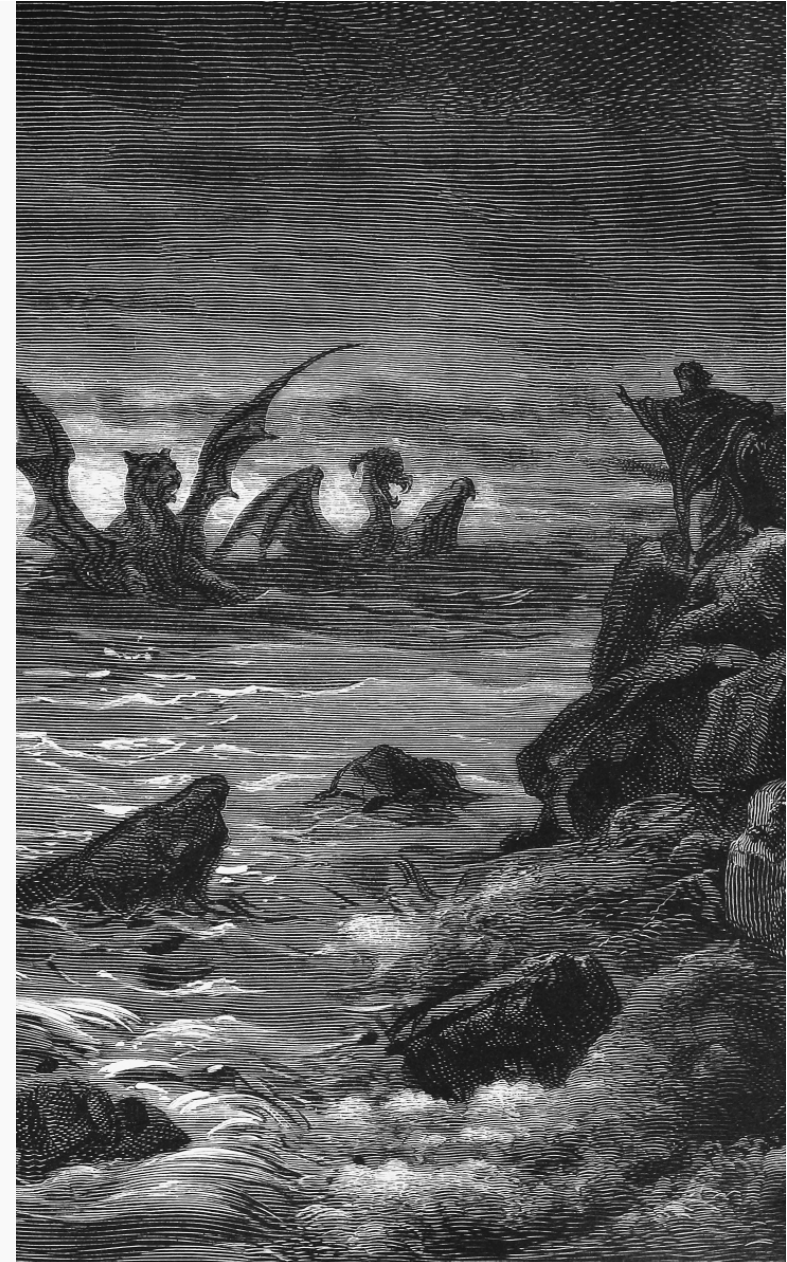
ダニエルは言った。「私が夜、幻を見てみると、なんと、天の四方の風*が大海*をかき立てていた。

すると、四頭の大きな獣が海から上がって来た。その四頭はそれぞれ異なっていた。」

*天の四方の風を送るのは、主ご自身

➔歴史を支配されるのは、主なる神

*海は、異邦人世界の象徴



獣の幻

獅子のような獣 ダニエル7:4

第一のものは獅子のようで、鷲の翼をつけていた。見ていると、その翼は抜き取られ、地から身を起こされて人間のようになり二本の足で立ち、人間の心が与えられた*。

■ 第一の獣 …バビロニア

*ネブカドネツアル王の回心を示す?!



獣の幻 熊のような獣 ダニエル7:5

すると見よ、熊に似た別の第二の獣が現れた。その獣は横向きに寝ていて、その口の牙の間には**三本の肋骨***があった。すると、それに『起き上がって、多くの肉を食らえ』との声がかかった。

■ 第二の獣 …ペルシア

* 三つの地域を支配?!

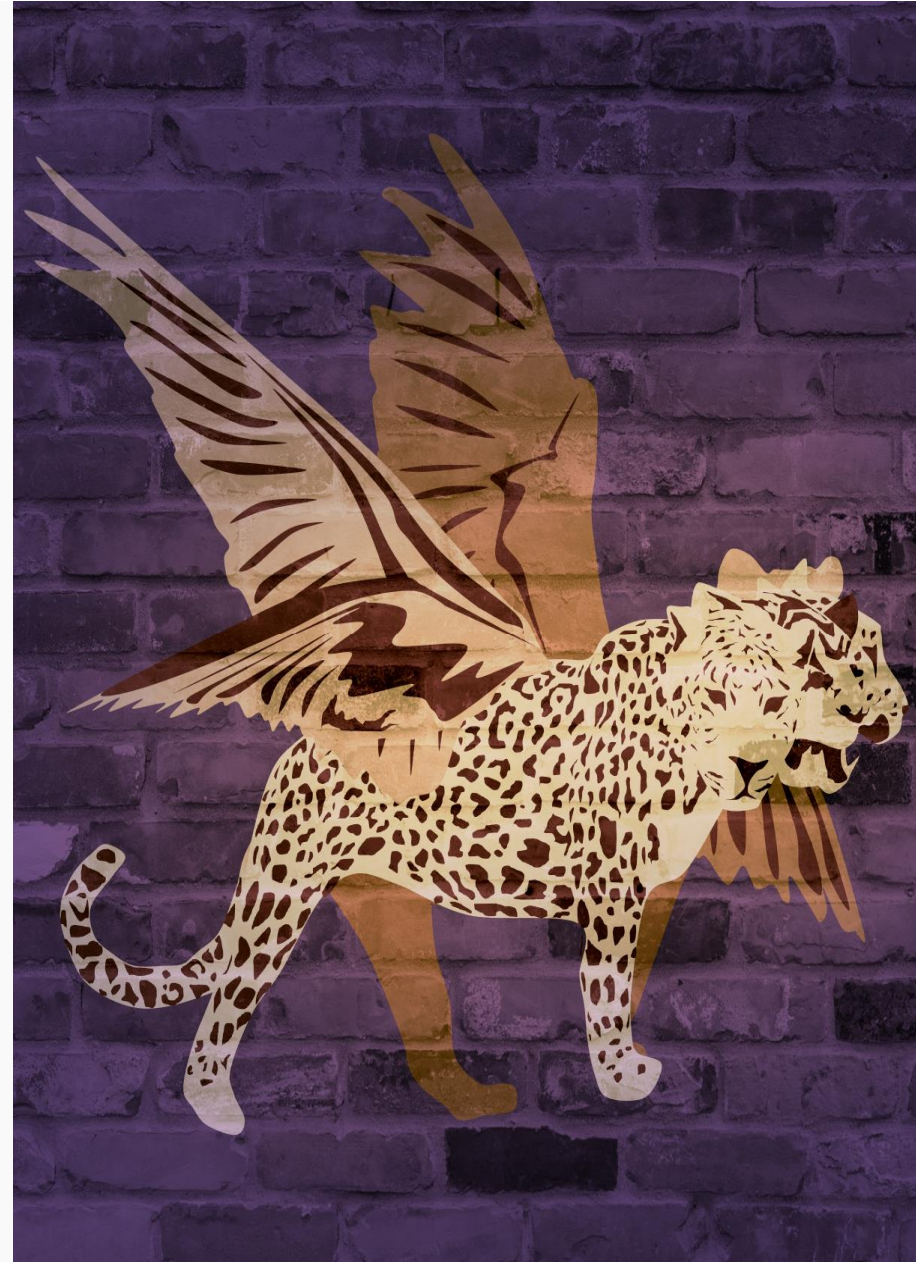
…ペルシア、メディナ、バビロニア
(ペルシア、バビロニア、エジプト)



獣の幻 豹のような獣 ダニエル7:6

その後、見ていると、なんと、豹のような別の獣が現れた。その背には四つの鳥の翼があり、その獣には四つの頭があった。そしてそれに主権が与えられた。

- 第三の獣 …ギリシャ
- アレクサンダー大王が、一代で征服
 - ➔ 若くして死去 四つの国に分裂



獣の幻 不気味な獣 ダニエル7:7

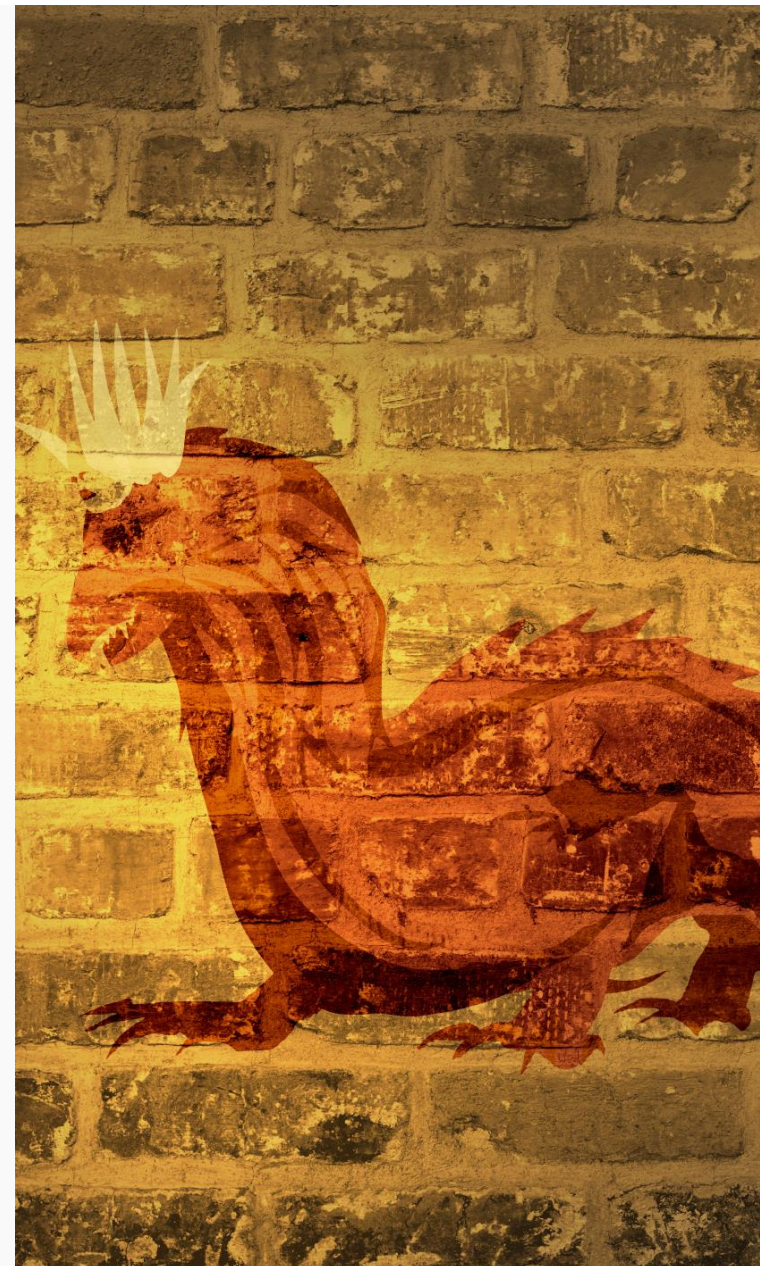
その後また夜の幻を見ていると、なんと、第四の獣が現れた。それは恐ろしくて不気味で、非常に強かった。大きな鉄の牙*を持っていて、食らってはかみ砕き、その残りを足で踏みつけていた。これは前に現れたすべての獣と異なり、十本の角*を持っていた。

■ 第四の獣 …ローマ

…延長線上に終末の世界政府

*軍事力は最強。力と富による支配。

*角は権威の象徴 …十の国からなる共和国



獣の幻

小さな角 ダニエル7:8

私がおのその角を注意深く見ていると、なんと、その間から、もう一本の小さな角*が出て来て、その角のために、初めの角のうち三本が引き抜かれた。よく見ると、この角には人間の目のような目があり、大言壮語する口*があった。

*反キリスト

…三つの国の王を倒して王となる。

*偽りの力で世界の王となり、イスラエルと偽りの契約(平和条約)を結ぶ



獣の幻

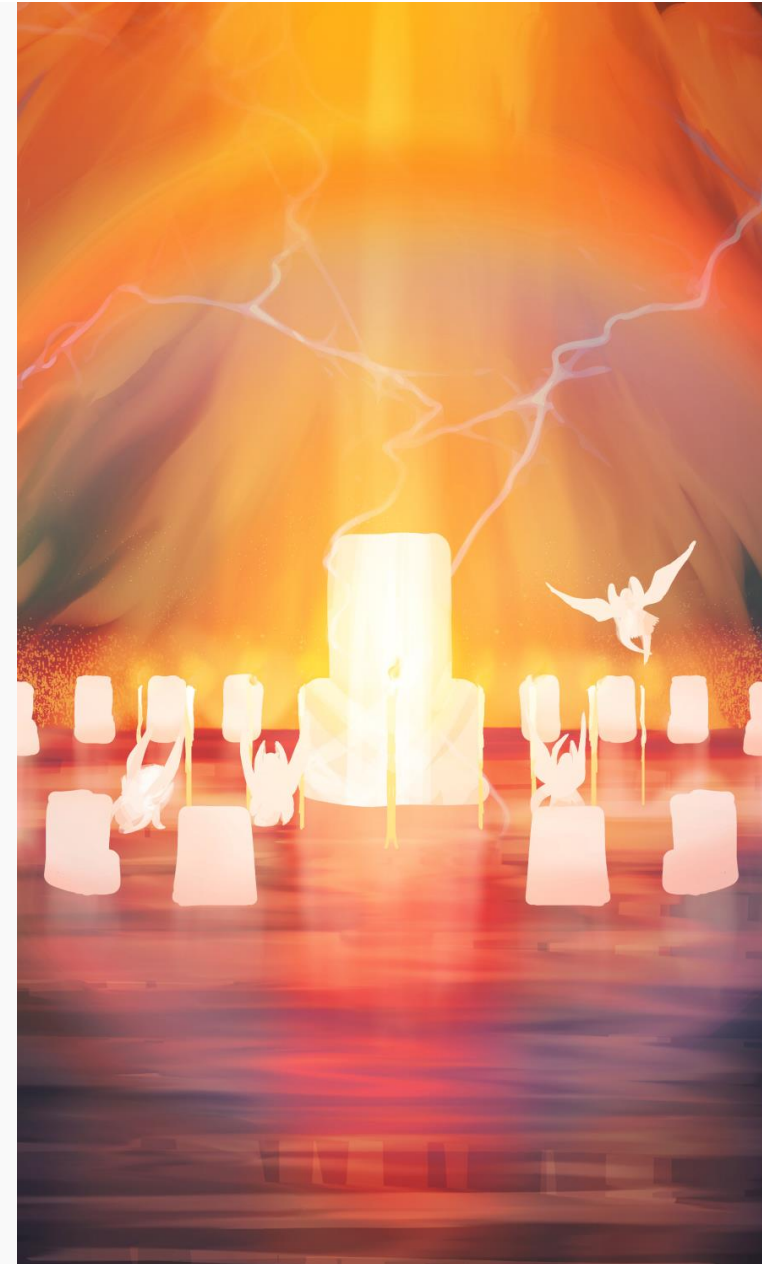
年を経た方 ダニエル7:9~10

私が見ていると、やがていくつかの御座が備えられ、『年を経た方*』が座に着かれた。その衣は雪のように白く、頭髮は混じりけのない羊の毛のよう*。御座は火の炎、その車輪は燃える*火で、火の流れがこの方の前から出ていた。幾千もの者がこの方に仕え、幾万もの者がその前に立っていた。さばきが始まり、いくつかの文書が開かれた。

*はるかな時を経た歴史の支配者…父なる神

*完全なきよさ

*厳正な裁き



獣の幻 主の裁き ダニエル7:11～12

そのとき、あの角が大言壮語する声があったので、私は見続けた。すると、その獣は殺され、からだは滅ぼされて、燃える火に投げ込まれた。

残りの獣は主権を奪われたが、定まった時期と季節まで、そのいのちは延ばされた。

- 各々の獣は、定められた期間、世界を治め、最後の獣は、主によって裁かれる。
- 千年王国では、三つの国の特徴を持つ異邦人の王国が存続。





II. 人の子のような方

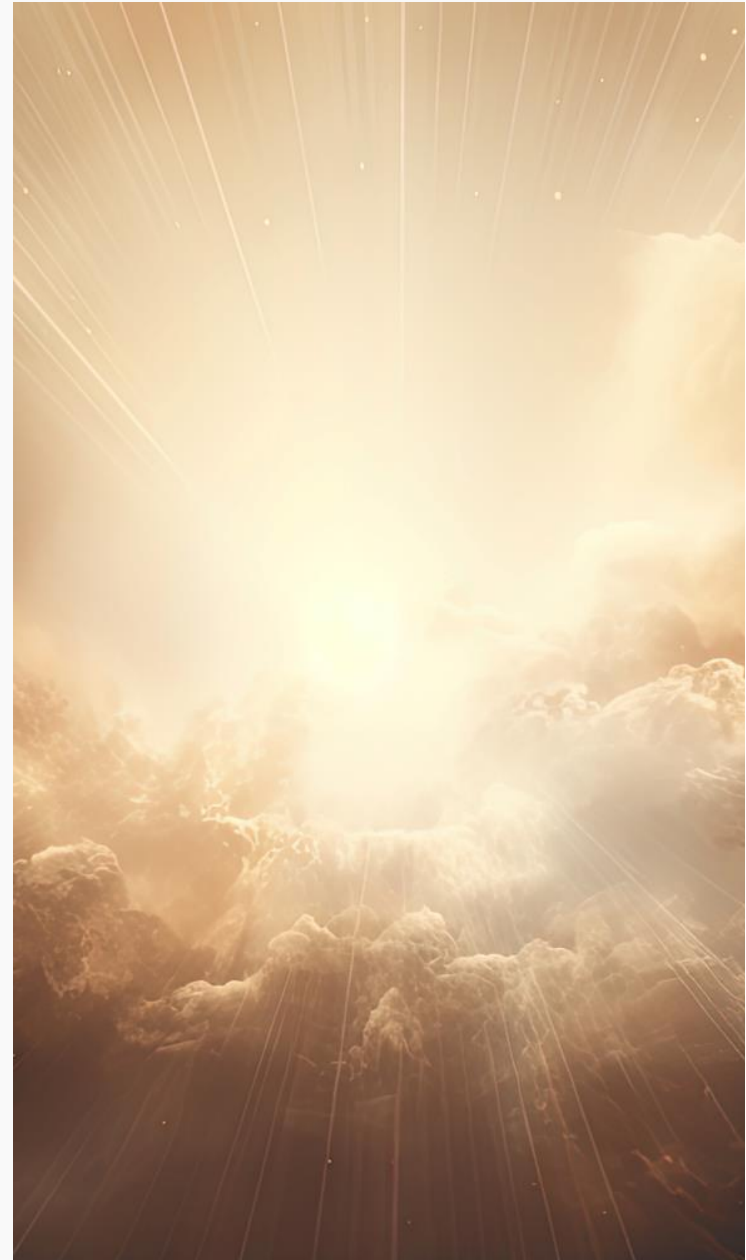
ダニエル書7章13～28節

幻 人の子 ダニエル7:13~14

私がまた、夜の幻を見ていると、見よ、人の子のような方*が天の雲とともに来られた。その方は『年を経た方』のもとに進み、その前に導かれた。

この方に、主権と栄誉と国が与えられ、諸民族、諸国民、諸言語の者たちはみな、この方に仕えることになった。その主権は永遠の主権で、過ぎ去ることがなく、その国は滅びることがない。

■再臨のメシア*が永遠の神の王国の王となる



栄光を帯びた再臨のメシア

■ マタイ 26:64

イエスは彼に言われた。

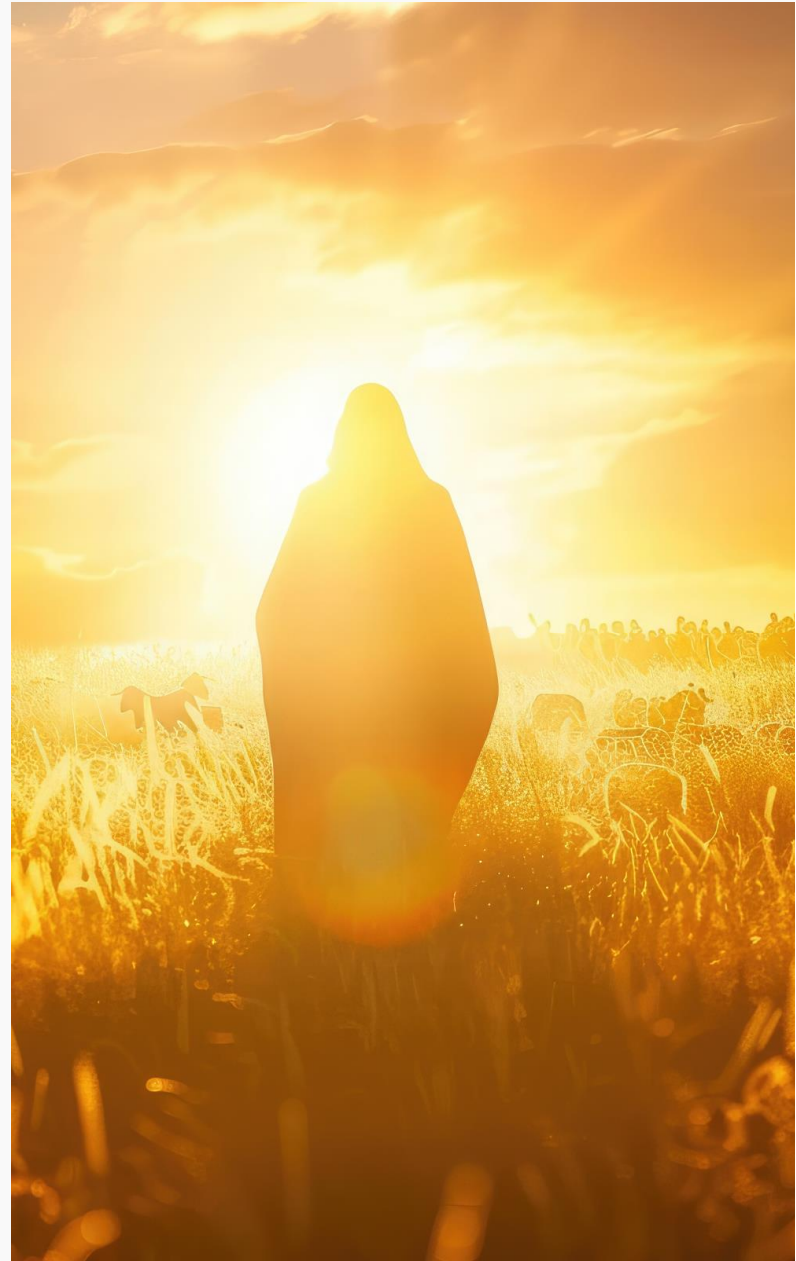
「あなたが言ったとおりです。しかし、わたしはあなたがたに言います。あなたがたは今から後に、**人の子**が力ある方の右の座に着き、そして**天の雲**とともに来るのを見ることになります」

啓示 幻の意味 ダニエル7:15～16

私ダニエルの心は私のうちで悩み、頭に浮かんだ幻は私をおびえさせた。

私は、傍らに立っていた者たちの一人*に近づき、このことすべてについて、彼に願って確かめようとした。すると彼は私に答えて、そのことの意味を告げてくれた。

*天の御使い

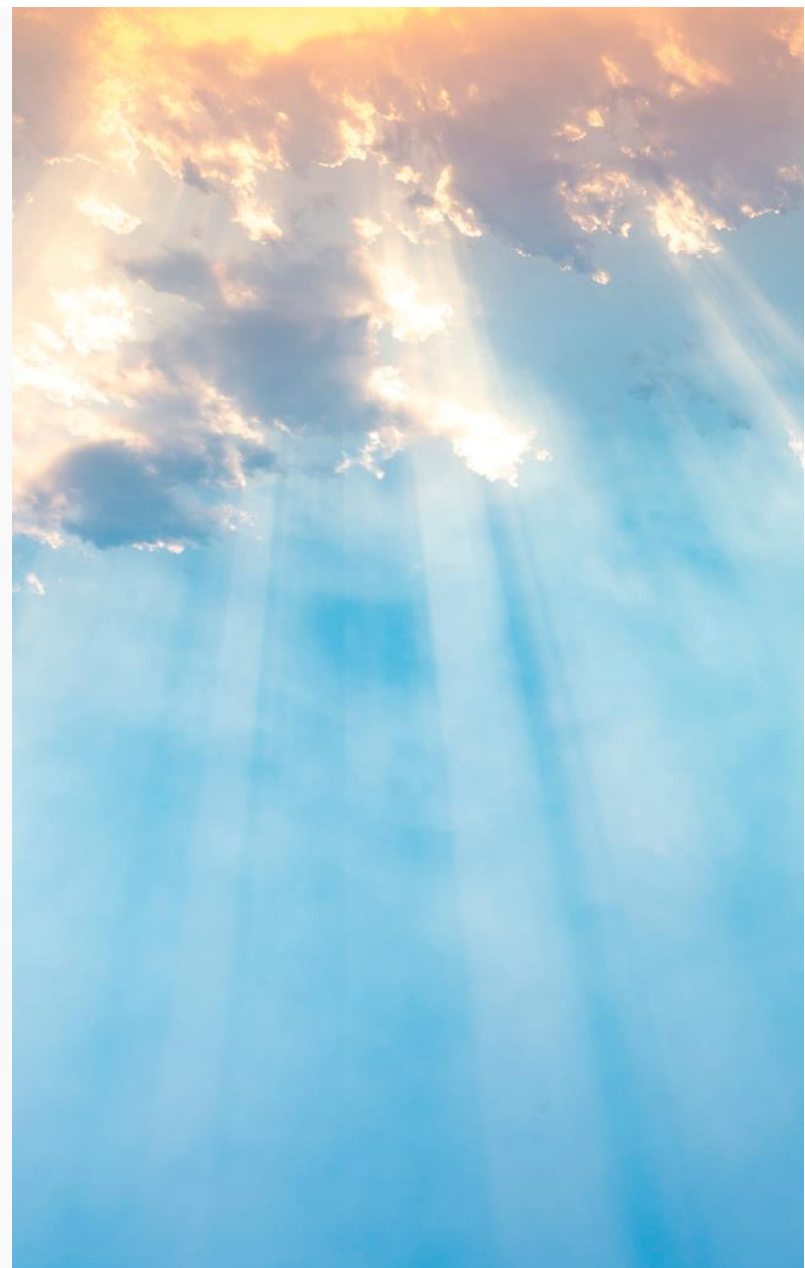


啓示 神の国 ダニエル7:17~18

『これら四頭の大きな獣は、地から起こる四人の王である。

しかし、いと高き方の聖徒たちが**国**を受け継ぎ、**その国**を永遠に、世々限りなく保つ』

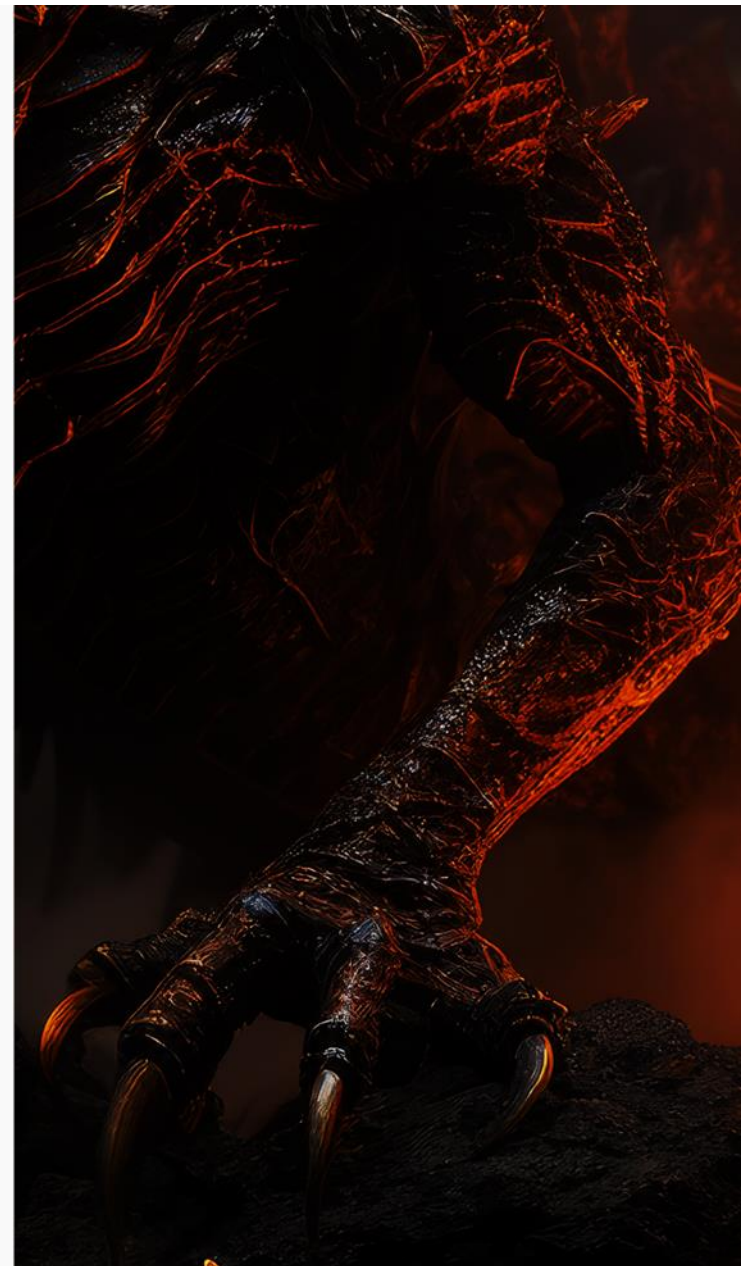
■地上は、四段階の帝国を経て、
神の民による**神の永遠の王国**に至る。



啓示 第四の獣 ダニエル7:19

それから私は、第四の獣について確かめたいと思った。それは、ほかのすべての獣と異なっていて、非常に恐ろしく、牙は鉄、爪は青銅で*、食らってはかみ砕いて、残りを足で踏みつけていた。

*形容しがたい異形の獣。力は最強。



啓示 第四の獣 ダニエル7:20

その頭には十本の角があり、もう一本の角*が出て来て、そのために三本の角が抜け落ちた。その角には目があり、大言壮語する口があった。その角はほかの角よりも大きく見えた。

- 反キリスト*は、十の王の3人を倒し、さらには、世界の支配者として君臨する。



啓示 裁きの時 ダニエル7:21～22

私が見ていると、その角は聖徒たち*に戦いを挑み、彼らに打ち勝った。

しかしそれは『年を経た方』が来られるまでのことであり、いと高き方の聖徒たちのためにさばきが行われ、聖徒たちが国を受け継ぐ時期が来た。

*ダニエル書では、イスラエルのこと

■反キリストによるイスラエルへの大迫害は、主の再臨まで続く。



啓示 第四の獣の意味 ダニ7:23～24

彼はこう言った。『第四の獣は地に起こる第四の国。これは、ほかのすべての国と異なり、全土を食い尽くし、これを踏みつけ、かみ砕く。』

十本の角は、この国から立つ十人の王。彼らの後に、もう一人の王が立つ。彼は先の者たちと異なり、三人の王を打ち倒す。

■反キリストは全世界を暴虐に支配する。

➡いかなる王とも異質な、サタンの化身



啓示 大迫害の後 ダニエル7:25～26

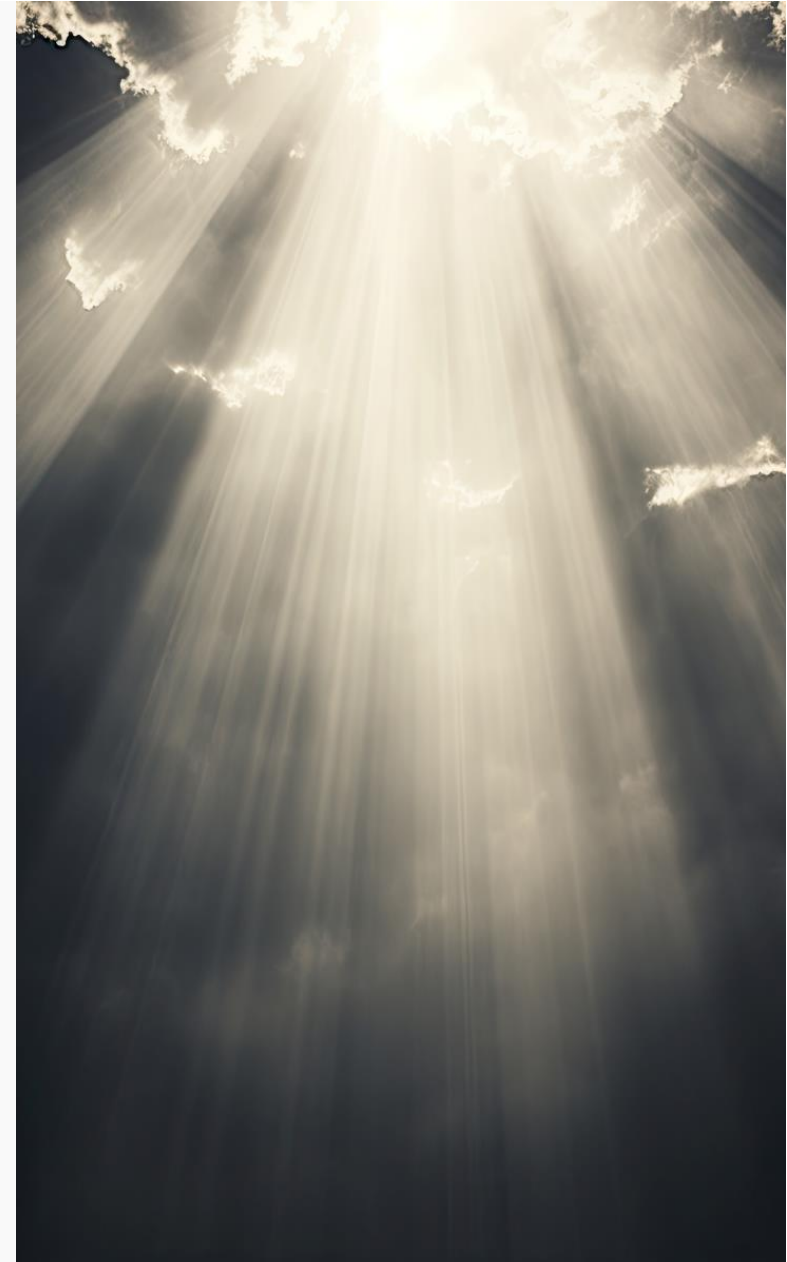
いと高き方に逆らうことばを吐き、いと高き方の聖徒たちを悩ます。彼は時と法則を変えようとする*。聖徒たちは、一時と二時と半時の間*、彼の手に委ねられる。

しかし、さばきが始まり、彼の主権は奪われて、彼は完全に絶やされ、滅ぼされる。

*反キリストは、神にとって変わろうとする

*7年の艱難期後半、ユダヤ人への大迫害が

➡民族的回心、メシア再臨、裁き

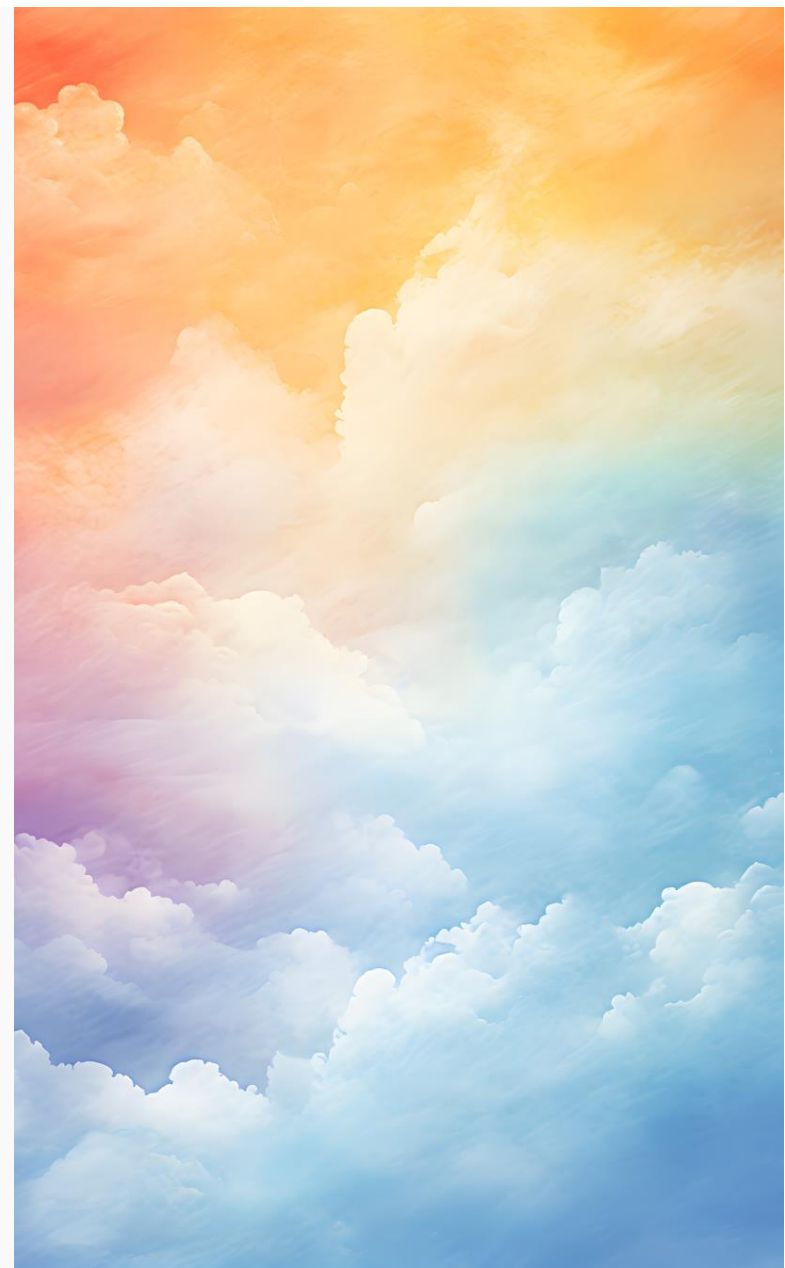


啓示 永遠の王国 ダニエル7:27~28

国と、主権と、天下の国々の権威は、いと高き方の聖徒である民に与えられる。その御国は永遠の国。すべての主権は彼らに仕え、服従する。』

ここでこの話は終わる。私ダニエルは、いろいろと思い巡らして動揺し、顔色が変わった。しかし、私はこのことを心にとどめた」

- イスラエルが、千年王国を治める
 - ➔ 異邦人は、各々の国を統治する





Ⅲ. まとめと適用

十字架のいのちの道をこそ歩もう

2章と7章の幻の違い

	2章	7章
幻	つぎはぎの像	四頭の獣
時代	ネブカドネツアル王 (バビロニアの最盛期)	ベルシャツアル王 (バビロニア滅亡の14年前)
幻を見た者	ネブカドネツアル王	ダニエル
解き明かした者	ダニエル	天使
視点	人間の視点	神の視点

※テーマは共通：異邦人の世界帝国の変遷

世界帝国の変遷 「四頭の獣」 ダニエル7章

獣	内容	王の権威	力	特徴
①獅子?!	バビロニア	★★★★	★	絶対王制
②熊?!	ペルシア	★★★	★★	立憲君主制
③豹?!	ギリシャ	★★	★★★	民主制 (独裁)
④異形	ローマ以降	★	★★★★	共和制 (帝国主義)
十本の角	十の王国	—	—	統一と分裂
一本の角	反キリスト	★★★★	★★★★	サタンの化身

第四の帝国の時代

- 今は、ローマ以後の時代。権威は廃れ、力と富が世を支配。
- 教会の携挙後、世界統政府が誕生、十の王国に分断。
3人の王を倒して、反キリストが台頭、世界の支配者に。
- 反キリストが、イスラエルと7年間の契約(平和条約)
後半の3年半は、本性を現し、イスラエル殲滅、最終戦争へ。
- イスラエルの民族的回心、メシア再臨、反キリストの裁き。

再臨のメシア 神の王国

■ダニエル7:13～14

私がまた、夜の幻を見ていると、見よ、**人の子のような方**が天の雲とともに来られた。その方は『年を経た方』のもとに進み、その前に導かれた。

この方に、主権と栄誉と国が与えられ、諸民族、諸国民、諸言語の者たちはみな、この方に仕えることになった。

その主権は永遠の主権で、過ぎ去ることがなく、その国は滅びることがない。

栄光を帯びた再臨のメシア

■ マタイ16:24~27

「だれでもわたしについて来たいと思うなら、自分を捨て、自分の十字架を負って、わたしに従って来なさい。

自分のいのちを救おうと思う者はそれを失い、わたしのためにいのちを失う者はそれを見出すのです。

人は、たとえ全世界を手に入れても、自分のいのちを失ったら何の益があるのでしょうか。そのいのちを買い戻すのに、人は何を差し出せばよいのでしょうか。

人の子は、やがて父の栄光を帯びて御使いたちとともに来ます。そしてそのときには、それぞれその行いに応じて報います。

やがて来られる主イエス・キリストに信頼しよう

- 力と富がすべての今の時代。欲望が絶対化され、争いは激化。世の闇は深まり、混沌は増大してくださるう。
- 信仰者に求められるのは、自分の十字架を負って主に従うこと。主に従って命を得るか。欲望に従って滅びにいたるか。
- 神の怒りから私を贖われた、主イエス・キリストに信頼しよう。主が私を御許に挙げられ、イスラエルを回心に導かれ、すべての罪と悪を裁き、永遠の王国に私たちを招き入れられる。

★ この時代の信仰者が歩む道★

- 力と富の今時代、欲望が偶像となり、ますます増大していく。世の成功が、滅びを招く罠となる。
- 挫折や失敗の経験はむしろ幸い。救いに近づく道だから。信仰者も、打ち砕かれて、主の恵みが染み渡っていく。きめ細やかな、よい土になり、豊かな実りがもたらされる。
- 主イエスの十字架の道を歩もう。世において受ける辱めは、永遠の御国の栄光につながっている。

てん とう つみ
「天のお父さま。わたしの罪をゆるしてください

かみ こ
わたしは、神のみ子イエス・キリストが、

① わたしの罪を贖うために十字架で死に、

はか ほうむ
② 墓に葬られ、

みっかめ ふっかつ しん
③ 三日目に復活したこと、を信じます。

やくそくどお しゅ えいこう すがた ふたたび こ れいはい
約束通り、主イエスは、栄光の姿で再び来られます。

つみびと あく さば えいえん おうこく た わたし まね い
罪人と悪を裁き、永遠の王国を建て、私を招き入れてくださいます。

よ くなん わたし まも ささ
世にある苦難から、私を守り、支えてください。

みずか じゅうじか お しゅ しめい つか もの
自らの十字架を負い、主の使命に遣わされる者としてください。

しゅ な いの
主イエス・キリストのみ名によって祈ります。 アーメン」